



訪問ガイド 2026

アザイ・ル・リドー城

アザイ・ル・リドー・から 16€

<https://chateau-azay-le-rideau.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

水上のルネサンス宝石

GOOGLE **4.6** ★★★★★ 17 837レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 670レビュー

1518年、フランスの財務官ジル・ベルトレとその妻フィリップ・Lesbakyによって、インドル川の河床の上にこの城の建設が始まりました。旧砦の跡地に建てられたこの建物は、大胆な杭打ち基礎技術を用いて水面に浮かぶように設計され、ルネサンス期の建築における革新的な試みとして注目されました。当時としては驚異的な工学的手法により、城は文字通り川の上に「浮遊」する視覚効果を生み出し、ロワール渓谷の景観に新たな次元を加えました。

建設期間中、夫のジルが頻繁に不在であったため、妻であるフィリップ・Lesbakyが工事の監督を積極的に担当しました。彼女は時折、ギヨーム・アルトー神父に監視を任せましたが、その決断力と芸術への眼識は、この建築傑作の起源に人間的な深みを与えています。伝統的に男性中心とされてきたルネサンス建築史において、彼女の関与は稀な例であり、現代の歴史研究において再評価されるべき重要な要素となっています。

1528年、ジル・ベルトレの不正行為が発覚し、フランソワ1世によって城は接収されました。未完成のまま放棄されたこのプロジェクトは、アントワヌ・ラフィンに贈られ、彼の下で初期の四角形閉鎖計画が放棄され、特徴的なL字型シルエットが残されました。この建築的決定は、防御よりも水辺の景色を優先する開かれた性格を城にもたらし、今日の訪れる者に独特の視覚的パースペクティブを提供しています。

長年の私的所有を経て、1905年に国によって購入され、国立記念物となりました。この決定的な介入により、城は民間売却や私有地への変換から救われ、一般公開されることになりました。1914年4月18日の歴史的記念物指定により、その芸術的・歴史的価値が公式に認められ、現代の脅威や時間の劣化に対してフランスのルネサンス遺産を守るための国家的コミットメントが象徴されました。

体験

城門をくぐると、まず目に飛び込んでくるのはインドル川に映る完璧な反射です。朝日が水面を金色に染め、石造りのファサードが鏡のように再現される瞬間は、まるで絵画の中に足を踏み入れたような錯覚を起こさせます。静寂と調和が支配するこの空間では、時間の流れが遅くなり、訪れる者は自然と深呼吸をし、心身を落ち着かせることができます。

内部に入ると、栄誉の階段の精巧な鉄製手すりが洗練されたエレガンスを示しており、ルネサンス期の建築美が体現されています。光が窓から差し込み、壁面や装飾に柔らかな影を作り出す様子は、建築家が意図した通りのドラマチックな演出を実現しています。ピアンクールサロンには19世紀の貴族生活を証言する描画装飾が施され、新ルネサンス様式の美学が住宅内部に応用された印象的な例を目にすることができます。



訪問の準備

実用的な情報

住所

アンド＝エ＝ロワール県 ・ アクセス：県道D11号線、橋のすぐ近くに無料駐車場あり。

営業時間

特定の祝日を除き年中無休。オフシーズン（11月～2月）は営業時間が短縮されますので、訪問前にご確認ください。

料金

26歳未満は無料。大人料金は16ユーロから。入場を保証するにはオンラインで予約してください。

所要時間

内部サロンや栄誉階段を探索し、インドル川に面した英国式庭園を静かに散策するには、最低2時間を確保してください。

写真撮影

屋内および屋外スペースでは、フラッシュや三脚なしで写真撮影が可能です。ルネサンス様式の城の独特なショットのために、朝の水辺の反射光を活用しましょう。

対象客層

ロマンチックなカップルや歴史愛好家に最適です。公園があるため家族連れにもアクセス可能ですが、小さな子供やベビーカーの場合は狭い階段にご注意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



メトロ

: アザイ・ル・リドー（市役所）－ 4 min à pied
駅通り (8 min)・駅前広場 (10 min)



バス

: アザイ＝レ＝リドー - 市庁舎/中心部－ 5 min à pied
駅通り (11 min)・駅前広場 (14 min)



自動車

駅通り (5 min)・駅前広場 (8 min)



バイク

駅通り (5 min)・駅前広場 (9 min)

LOCALISATION

Où se trouve アザイ・ル・リドー城？



📍 Rue de Pineau — 37190 アザイ・ル・リドー

🌐 47°15.541' N, 0°27.944' E



組織

理想的な見学ルート

レベル1（地上階）

入口からすぐの広間では、城の歴史を紹介するパネルや模型が展示されており、訪問者が全体の構造を理解するのに役立ちます。ビアンコールサロンはこの階に位置し、19世紀の貴族生活を証言する描画装飾を鑑賞できます。また、英国式庭園への出口もここからアクセス可能で、インドル川沿いの散歩を楽しむことができます。

レベル2（上層階）

栄誉の階段を上ると、主寝室や書斎などの居住空間が広がっています。これらの部屋は新ルネサンス様式で改装されており、精巧な木工細工や天井装飾が特徴的です。特に注意すべきは、窓からの眺めで、インドル川と周囲の緑豊かな風景が一望できます。ガイド付きツアーでは、これらの部屋の歴史的意義について詳しく説明されます。

屋外（庭園と堀）

英国式庭園は城の南側に広がり、整えられた花壇や芝生エリアが訪れる者に平和な雰囲気を提供します。堀周辺を歩けば、杭打ち基礎の基部を観察でき、城がどのように水面に支えられているかを理解するのに役立ちます。家族連れには、公園内の遊び場や教育的なコースが用意されており、子供たちも楽しめる空間となっています。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

観光と障害物ラベル：下部と庭園への部分的アクセス、上層階への制限あり。

ファミリー向け

広々とした安全な公園。子供に適しており、遊び場と教育的なコースがあります。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

見逃せない絶景と名所

01

中央ホール

栄誉の階段

城の中心的要素であるこの階段は、精巧な鉄製の手すりで知られており、ルネサンス期の建築美が体现されています。螺旋状のデザインと光の取り入れ方は、訪れる者を圧倒するドラマチックな効果を生み出します。ガイド付きツアーでは、この階段の芸術的ハイライトとしての重要性が強調されます。

💡 この階段は当初、より簡素なデザインで計画されていましたが、フィリップ・Lesbathyの指示により現在の豪華な装飾が施されました。彼女の美的感覚が、この建築傑作の完成度を高めたのです。

02

外観

インドル川の反射

朝日が水面を照らす時間帯に訪れると、城のファサードが完璧な反射として再現されます。この視覚的スペクタクルは、ロワール渓谷の城の中でも特に有名で、写真愛好家にとって最高の撮影スポットとなっています。静かな水面と石造りの対比が、独特の調和を生み出しています。

💡 オノレ・ド・バルザックは、この城を「インドル川に囲まれたダイヤモンド」と形容しました。彼の言葉は、この場所の美しさを端的に表現していると言えるでしょう。

03

地上階

ビアンクールサロン

19世紀の貴族生活を証言する描画装飾が施されたこのサロンは、絶対の見どころです。新ルネサンス様式の美学が住宅内部に応用された印象的な例であり、壁面や天井の詳細な絵画は当時の生活様式をよく示しています。訪れる者は、この空間で過去の優雅さを感じ取ることができます。

💡 このサロンは、ビアンクール家によって19世紀後半に改装されました。彼らの努力により、城は革命期の破壊から免れ、今日まで保存されているのです。

04

外観

杭打ち基礎

岸から城の基部を見ると、植物に隠れた木製の杭を確認できます。これらの杭は、城が文字通り川上に浮かんでいることを理解するために不可欠で、ルネサンス期の建築技術の革新性を示しています。この大胆な構造は、独特の反射を生み出し、視覚的な魅力を増しています。

💡 これらの杭は、当時は最新の技術でしたが、今では歴史的な遺構として保護されています。それらなくして、この城の存在は考えられないでしょう。

05

全体的形状

L字型シルエット

中庭を完全に閉鎖するという初期のアイデアが放棄された結果、L字型の特徴的な形状が残されました。この建築的決定は、伝統的な四角形の防御よりも水辺の景色を優先する、城の開かれた性格を与えています。訪れる者は、この形状が提供する例外的な視覚的パースペクティブを楽しむことができます。

💡 アントワヌ・ラフィンのこの変更を決定したのは、美学的理由だけでなく、実用的な考慮もあったと言われています。

06

屋外

英国式庭園

ゆっくり歩くのに十分な時間を取ってください。この庭園は城への素晴らしいロマンチックな眺望を提供し、指定された施設の平和で緑豊かな雰囲気を感じ取ることを可能にします。花壇や芝生エリアは、家族連れにもアクセス可能で、小さな子供やベビーカーの場合でも狭い階段にご注意しながら楽しめます。

💡 この庭園は、19世紀の改装時に整備されました。当時の貴族たちが余暇を過ごすために設計された空間であり、今日もその役割を果たしています。

07

近隣

サン＝ピエール教会

城の訪問直後、Azay-le-Rideauの歴史的な中心部を探索しましょう。石畳の路地、典型的なショップ、サン＝ピエール教会は、主要な遺産体験に完璧な補完を提供します。この教会は、中世の村の中心に位置し、地域の文化的アイデンティティを象徴しています。

💡 この教会は、城の建設と同じ時期に改修されました。両者の関係は、当時の社会的構造をよく示しています。

08

情報

オンライン予約システム

入場を保証し、特に観光シーズン中の長い待ち行列を避けましょう。オンライン予約はスムーズなアクセスを確保し、ストレスや貴重な時間の損失なしに一日を計画することを可能にします。このシステムは、現代の観光需要に対応するための重要なツールとなっています。

💡 予約なしで訪れると、混雑時には数時間待つこともありますが、事前に予約すれば即座に入場できます。

アドバイス

快適な訪問のための秘訣

TIMING

大規模なグループが来る前にIndre川への完璧な反射を捉えるため、正確に開園時間に合わせて到着しましょう。朝の光は、人の邪魔なしにメインファサードを撮影するのに理想的な金色のトーンを提供します。

PARCOURS

内部サロンや栄誉階段を探索し、インドル川に面した英国式庭園を静かに散策するには、最低2時間を確保してください。写真撮影や説明パネルの読書に時間をかけたい場合は、2時間30分を目安にしてください。

PAUSE

城の近くにあるアザイのミューランで昼食を楽しみましょう。旧水力ミューランに設置されたこのレストランは、インドル川を直接望む洗練された料理を提供し、歴史的な雰囲気の中で食事をする貴重な機会となります。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語のオーディオガイドが利用可能です。英語のオーディオガイドは、ジル・ベルトレの歴史を理解するのに大いに役立ちます。特にビアンクールサロンや栄誉の階段の説明は必聴です。

BILLET

入場を保証するにはオンラインで予約してください。特に繁忙期（7月～8月）や週末には、窓口での待ち行列を回避するために事前予約を強くお勧めします。

PHOTO

屋内および屋外スペースでは、フラッシュや三脚なしで写真撮影が可能です。ルネサンス様式の城の独特なショットのために、朝の水辺の反射光を活用しましょう。

ENFANTS

公園があるため家族連れにもアクセス可能ですが、小さな子供やベビーカーの場合は狭い階段にご注意ください。広々とした安全な公園で体を動かすことができ、教育的なコースもあります。

CONFORT

歩きやすい靴を履いてください。庭園や村内を散策する際、石置の路地や斜面があるため、安定した足元が重要です。また、季節に応じて適切な服装を選び、天候の変化に対応できるようにしましょう。



よくある質問

よくある質問

アザイ・ル・リドー城の入場料はいくらですか？

大人料金は16€です。ただし、有効な身分証明書の提示により、26歳未満のEU居住者は入場無料です。この文化的政策により、学生や若者にとって非常にアクセスしやすい施設となっています。

事前にチケットを予約する必要がありますか？

はい、特に繁忙期（7月～8月）や週末にはオンライン予約を強くお勧めします。これにより、ロワール渓谷で5番目に人気のあるこの施設へのアクセスが保証され、窓口での待ち行列を回避できます。閑散期では現地での支払いも可能ですが、空き状況に左右されます。

割引や特別プロモーションはありますか？

26歳未満の無料入場の他にも、団体や文化カード保持者向けの割引が適用される場合があります。購入前に公式サイトで最新のオファーをご確認ください。オンライン予約では、ジル・ベルテローによって建造されたルネサンスの宝石であるこの施設を訪れるための追加の物流上の利点があることもあります。

予約のキャンセルや変更は可能ですか？

キャンセル条件は購入したチケットの種類によって異なります。一般的に、訪問日の24時間または48時間前までであれば無料キャンセルが可能です。正確な期限を確認し、トゥールーズ近郊のアンドル＝エ＝ロワール県での滞在を確実にするために、ご注文時の販売規約をお読みください。

城とその庭園を見学するにはどのくらい時間がかかりますか？

室内ホール、荣誉階段、英国式庭園の散策を含む完全な見学には約2時間を計画してください。写真撮影や説明パネルの読書に時間をかけたい場合は、2時間30分を目安にしてください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

女性の指揮者

Gilles Berthelotの頻繁な不在の間、妻である**Philippe Lesbahy**が1518年から積極的に工事を監督しました。彼女は時折監視をGuillaume Artault神父に任せており、フランスのルネサンス建築における稀な女性の関与を示しています。この事実は、伝統的な男性中心の歴史によってしばしば隠されています。

没収の背景

城は未完成のまま、Berthelotの**1528年**の不正行為の結果、国王によって接収されました。この没収は劇的な転換点となり、元の所有者が当初の意志通りにプロジェクトを完成させることを妨げました。ジル・ベルトレはメッツに逃亡し、カンブレイで亡くなりました。

国家による救済

潜在的な民間売却から救済され、**1905年**の国による購入により、この敷地は国立記念物となりました。この決定的な介入により、この遺産の宝石が公開され、その消失や閉鎖された私有地への変換を防ぐことができました。

公式認定の日

1914年4月18日の歴史的記念物指定により、その歴史的・芸術的重要性に対する公式な認識を得ました。この日は、現代の脅威や時間の劣化に対してフランスのルネサンス遺産を守るためのコミットメントを象徴しています。

博物館周辺

城の訪問後、隣接するサン＝マルタン教会を訪れてください。15世紀のゴシック様式で建造されたこの教会は、鐘楼からは城への素晴らしい眺望を提供し、中世の村全体を見下ろすことができます。その後、アザイのミューランで昼食を楽しみましょう。旧水力ミューランに設置されたこのレストランは、インドール川を直接望む洗練された料理を提供し、歴史的な雰囲気の中で食事をする貴重な機会となります。さらに、アザイ・レ・リドー歴史的中心部を散策すれば、石畳の路地や地元職人のショップ、トゥール地方の芸術家のギャラリーを発見できます。これらの施設は、主要な遺産体験に完璧な補完を提供し、一日の行程を豊かに彩ります。



アザイ・ル・リドー城を訪れることは、単なる観光ではなく、ルネサンスの魂に触れる体験です。水面に映る城の姿は、過去と現在をつなぐ橋渡しとなり、訪れる者の心に深い感動を残します。この場所でのひときは、日常の喧騒から離れ、美と調和の本質を再発見する機会となるでしょう。ぜひ、この魔法のような瞬間を自分の目で確認してください。